

年 度	2022 年度		
科 目	高度情報試験対策Ⅱ 【演習形式】		
担 当	松永 公廣、針尾 大嗣	使用教室	32 教室
実務経験	<p>松永公廣 高等工業専門学校で、「プログラミング」、「電気計測」などを指導してきた。また大学で「コンピュータ概論」、「プログラミング」、「経営情報システム論」、「データベース概論」、「リスクマネジメント」などを指導してきた。</p> <p>針尾 大嗣 摂南大学経営学部教授 博士（国際情報通信学、早稲田大学 -）、ネットワーク、情報学（サイバー犯罪、サイバーセキュリティ、国際情報通信、危機管理）、プロファイル分析（行動分析、犯罪心理学）</p>		
種 別	前期 ・ レ後期 ・ 通年		
到達目標	経済産業省が実施する国家試験（応用情報技術者試験）に合格する		
資格実施月	基本情報技術者試験：4月第三日曜日、10月第三日曜日		
評価方法	定期考査（中間・期末）の成績（70%）と課題提出や出席状況等の平常点（30%）の合計		
教科書等	なし		
授業計画	<p><b>高度 IT 人材となるために必要な応用知識・技能を学び、実践的な活用能力を修得する。</b></p> <p>応用情報技術者試験について、学生の習熟度や受験予定日、資格取得状況等に応じて、下記の出題範囲の中から、適宜、問題演習・解答・解説を実施する。</p> <p>また IPA の下位の試験であり、IT を利活用する人が備えておくべき基礎的な知識技能と問う試験である「基本情報処理」の受験を希望する学生には、それに対応すべく問題演習・解答・解説を実施し、資格取得を目指す。</p> <p>各週のテーマに沿って知識確認演習、発展演習を行う。</p> <p>1 週目 プログラミング、プログラム言語、いろいろなプログラム言語</p> <p>2 週目 ファイルシステム、開発ツール、オープンソースソフトウェア</p> <p>3 週目 データ操作、トランザクション処理、データベース応用</p> <p>4 週目 ネットワーク方式、データ通信と制御、通信プロトコル、ネットワーク管理 ネットワーク応用</p>		

授 業 計 画	5 週目 セキュリティ技術評価、情報セキュリティ対策、セキュリティ実装技術
	6 週目 ソフトウェア方式設計・ソフトウェア詳細設計、ソフトウェア構築、ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト
	7 週目 知的財産適用管理、開発環境管理、構成管理・変更管理
	8 週目 プロジェクトのコスト、プロジェクトのリスク、プロジェクトの品質、プロジェクトの調達、プロジェクトのコミュニケーション
	9 週目 パフォーマンス評価及び改善、サービスの運用、ファシリティマネジメント
	10 週目 システム監査、内部統制
	11 週目 情報システム戦略、業務プロセス、システム活用促進・評価
	12 週目 システム化計画、要件定義、調達計画・実施
	13 週目 経営戦略手法、マーケティング、ビジネス戦略と目標・評価
	14 週目 ビジネスインダストリ、ビジネスシステム、e-ビジネス 民生機器、産業機器
	15 週目 OR・IE、会計・財務
	16 週目 セキュリティ関連法規、労働関連・技術者倫理、標準化関連
	17 週目 セキュリティ関連法規、労働関連・取引関連法規、 ガイドライン・技術者倫理、標準化関連